



StorageGRIDシステムの管理

StorageGRID

NetApp
November 26, 2025

目次

StorageGRIDシステムの管理	1
StorageGRIDシステムを表示	1
NetApp ConsoleでStorageGRID証明書を表示および更新する	1
管理インターフェース証明書のステータスを表示する	1
管理インターフェース証明書を更新する	2
NetApp ConsoleのGrid Managerを使用してStorageGRIDを管理する	2
サポートされている構成	2
制限事項	2
グリッドマネージャーに切り替える	3
グリッドマネージャーのヘルプ	4
StorageGRIDでNetAppデータサービスを使用する	4
StorageGRIDシステムを削除する	4

StorageGRIDシステムの管理

StorageGRIDシステムを表示

StorageGRIDシステムを検出したら、容量の配分と関連するアラート、ノード、テナントに関する詳細を表示できます。

必要な**NetApp Console**ロール:

ストレージ管理者またはシステムヘルスペシャリスト。"[NetApp Consoleのアクセスロールについて学ぶ](#)"。

手順

1. ナビゲーションメニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. システム ページで、表示するStorageGRIDシステムを選択します。
3. 利用可能なメニュー オプションから選択して、StorageGRIDシステムの詳細を表示します。
 - 概要: システムの容量分布 (使用済み容量と空き容量)、システムアラート、ノード、テナントの数などの詳細ビュー。
 - アラート: アクティブなアラート、解決済みのアラート、サイレント化されたアラートを含むシステムアラートの概要。
 - ノード: 管理ノード、API ゲートウェイ ノード、およびストレージ ノードに関する詳細。これには、使用されたオブジェクト データ、使用されたオブジェクト メタデータ、および CPU 使用率のパーセンテージが含まれます。
 - テナント: 使用されている論理スペース、クォータ使用率、クォータ、オブジェクト数など、テナントに関する重要な詳細。

NetApp ConsoleでStorageGRID証明書を表示および更新する

NetApp Consoleからシステムを検出する前に、StorageGRIDシステムに管理インターフェイス証明書が必要です。証明書は、コンソールとStorageGRID間の安全な接続を提供します。証明書は期限切れになることがあるため、時々証明書のステータスを確認したり、証明書を更新したりする必要がある場合があります。

必要な**NetApp Console**ロール:

ストレージ管理者。"[NetApp Consoleのアクセスロールについて学ぶ](#)"。

管理インターフェイス証明書のステータスを表示する

StorageGRIDシステムの管理インターフェイス証明書のステータスを表示して、証明書がまだ有効であることを確認します。

手順

1. ナビゲーションメニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. システム ページで、StorageGRIDシステムを選択します。
3. 標準ビューでは、ページの右側にある [情報] ペインの下部で、ユーザーが承認した証明書のステータスを

確認します。



証明書のステータスは 24 時間ごとに更新されます。

管理インターフェース証明書を更新する

管理インターフェース証明書のステータスが有効でない場合、または証明書の有効期限が切れたという通知を受け取った場合は、NetApp ConsoleがStorageGRIDに接続できるように証明書を更新する必要があります。

手順

1. StorageGRIDのオンプレミスのグリッドマネージャーにアクセスし、以下の手順に従ってください。
"[StorageGRIDに管理インターフェース証明書をインストールする](#)"。
2. NetApp Consoleのナビゲーションメニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
3. システム ページで、StorageGRIDシステムを選択します。
4. その他のオプションアイコン (水平に 3 つのドットがある円) を選択します。



5. *証明書の更新*を選択します。
6. 更新された証明書を使用するには、[証明書の承認] ページで [証明書の承認] を選択します。

NetApp ConsoleのGrid Managerを使用してStorageGRIDを管理する

詳細ビューを使用して、コンソールからStorageGRIDシステムを管理します。このビューを使用すると、コンソールから Grid Manager を使用できます。

必要なNetApp Consoleロール:

ストレージ管理者、またはシステムヘルススペシャリスト。"[アクセスロールについて学ぶ](#)"。

サポートされている構成

Grid Manager は、StorageGRID 11.8 以降のコンソールで使用できます。

制限事項

次のグリッド マネージャ操作はコンソールからは使用できません。これらの操作を実行する必要がある場合は、Grid Manager に直接サインインしてください。

グリッドマネージャーメニュー	コンソールから利用できない操作
ユーザ	- サインアウトリンク - APIドキュメントリンク - パスワードの変更
ノード	「ノード」 > 「SANtricity System Manager」 タブからSANtricity System Manager にアクセスできません。 - アラートを表示するときに、推奨アクションのすべてのリンクを選択できない場合があります。たとえば、サポートされていないグリッド マネージャー ページに移動するリンクは機能しません。
テナント	テナントの作成ウィザードまたはテナント ページからテナント アカウントにサインインすることはできません。 コンソールは現在、テナント マネージャーをサポートしていません。コンソールから新しいテナント アカウントを作成することはできますが、テナント ユーザーはコンソールから自分のアカウントにサインインすることはできません。
ILM	保管グレードリンク
構成	- グリッドパスワード - セキュリティ設定 > ブラウザの非アクティブタイムアウト - シングルサインオン - SNMPエージェント > BMCインターフェースのMIBファイル
メンテナンス	- リカバリパッケージ - ソフトウェアアップデート
サポート	- グリッドトポロジー - ログ収集 - Prometheus メトリックと Grafana ダッシュボードへのすべてのリンク - レガシーアラームのすべてのオプション - リンクコスト - NMSエンティティ

グリッドマネージャーに切り替える

StorageGRIDシステムを開き、Grid Manager オプションを選択します。

手順

1. システム ページから、StorageGRIDシステムを開きます。
2. 右上で、[グリッド マネージャーに切り替える] を選択します。
3. Grid Manager を使用してStorageGRIDシステムを管理します。
4. 必要に応じて、[戻る] を選択して、コンソールから標準ビューに戻ります。

グリッドマネージャーのヘルプ

グリッドマネージャの使用に関するヘルプが必要な場合は、["StorageGRIDドキュメント"](#) ステップバイステップの手順についてはこちらをご覧ください。

StorageGRIDでNetAppデータサービスを使用する

NetApp ConsoleでStorageGRIDシステムを検出したら、バックアップ、データ階層化、およびデータ同期にNetAppデータ サービスを使用できます。

- NetApp Backup and Recoveryを使用して、オンプレミスのONTAPシステムからNetApp StorageGRIDシステムのオブジェクト ストレージにデータをバックアップします。

開始するには、システム ページに移動し、オンプレミスのONTAPシステムをStorageGRIDシステムにドラッグ アンド ドロップします。

["オンプレミスのONTAPデータをStorageGRIDにバックアップする方法の詳細"](#)

- NetApp Cloud Tieringを使用して、オンプレミスのONTAPクラスターからStorageGRIDに非アクティブなデータを自動的に階層化します。

開始するには、システム ページに移動し、オンプレミスのONTAPシステムをStorageGRIDシステムにドラッグ アンド ドロップします。

["オンプレミスのONTAPクラスターからStorageGRIDへのデータ階層化の詳細"](#)

- NetApp Copy and Syncを使用して、StorageGRIDシステムとの間でデータを同期します。

開始するには、システム ページに移動し、ソース システムをターゲット システムにドラッグ アンド ドロップします。StorageGRID はソースまたはターゲットのいずれかになります。

["NetApp Copy and Syncの詳細"](#)

StorageGRIDシステムを削除する

NetApp ConsoleからStorageGRIDシステムを管理する必要がなくなった場合は、そのシステムを削除します。

必要な**NetApp Console**ロール:

ストレージ管理者。 ["NetApp Consoleのアクセスロールについて学ぶ"](#)。

コンソールからシステムを削除しても、StorageGRIDシステムには影響しません。いつでもコンソールに再度追加できます。

手順

1. ナビゲーション メニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. システム ページから、StorageGRIDシステムを開きます。
3. 標準ビューから、メニューアイコンを選択し、*ワークスペースから削除*を選択します。
4. *削除*を選択して確認します。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。